



Broad-minded
Small Amount & Short Term
Insurance Company

ブロードマインド少額短期保険株式会社
ディスクロージャー
2012

－ 2011 年度の業務及び財産の状況 －



CONTENTS

・PART 1 業績報告

- 1-1 ご挨拶
- 1-2 事業の概要
- 1-3 収支の状況
- 1-4 財務の健全性

・PART 2 商品とサービス

- 2-1 商品のご紹介
- 2-2 販売体制
- 2-3 お客様サポート
- 2-4 情報開示

・PART 3 各種取り組み

- 3-1 リスク管理
- 3-2 個人情報保護
- 3-3 コンプライアンス
- 3-4 教育研修体制

・PART 4 会社概要

- 4-1 会社プロフィール
- 4-2 組織体制と経営陣
- 4-3 グループのご紹介

・PART 5 各種データ

本資料は、保険業法第 272 条の 17 において準用する保険業法第 111 条第 3 項、第 4 項および保険業法施行規則第 211 条の 37 第 1 項に基づき作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。

PART 1

事業報告

- 1-1 ご挨拶
- 1-2 事業の概要
- 1-3 収支の状況
- 1-4 財務の健全性



1-1 ご挨拶

平素よりブロードマインド少額短期保険をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

弊社では、「**新しい時代の新しい保険**」を Key Word に、下記のマニフェストを策定し、運営を行っています。

マニフェスト

➤ **SIMPLE**

これからの保険はシンプルであるべきだと思います。私たちの保険には、分厚く難解な保険約款、覚え切れないほどの特約条項はありません。

➤ **EASY**

保険の加入手続きは、もっと簡便であるべきだと思います。いつでも、どこでもご加入いただけるよう、インターネットや通信販売でのご加入もいただけます。

➤ **REASONABLE**

毎月の保険料は、もっと手軽な金額であるべきだと思います。皆様をお守りする保障をリーズナブルな金額でお届けしていきます。

➤ **CASUAL**

保険は生活必需品です。だからこそ、もっと身近で等身大な存在であるべきと、私達は考えます。

➤ **PROGRESSIVE**

新しい時代の新しい保険をお届けすることが、私たちの使命です。固定観念や既成事実にとらわれず、新しい保険づくりに挑戦していきます。

このマニフェストにのっとり、少額短期保険業者として第4期事業年度を終了いたしました。2011年(平成23年)度の業務及び財産の状況に関し、本ディスクロージャー資料にまとめましたので、ご高欄ください。

私たちブロードマインド少額短期保険は、「**小さくてもキラリと光る保険会社**」として、引き続き、お客様に安心を提供して参りたいと思います。

引き続きあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ブロードマインド少額短期保険株式会社
代表取締役社長
飛田 浩志



1 - 2 事業の概要

2011年度の概観

2011年5月に弊社の経営体制が大きく変わり、営業開始4年目にあたる当期は新経営陣による事業の見直し及び再構築に専念した年となりました。

不採算事業の見直しと事務の効率化等、大規模なリストラクチャリングにより事業費を前年度より33,407千円削減したこともあり、当期の経常損失は5,418千円と前期の経常損失73,673千円と比較し、68,254千円の改善ができました。

それにより、2011年度末における当社のソルベンシー・マージン比率は799.4%となり、前年度の361.8%より大幅に改善されました。

保有契約件数

当期はスポーツ傷害保険の新規契約増により、年度途中で同保険の収益悪化を理由とし、新規引受停止を行ったものの、年度末保有契約は24,342件となり、前年度より2,435件の増加となりました。

収入保険料

生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命定期保険の保険料率改定により、保険料収入は413,606千円と前年度より38,900千円(前期比110.4%)増加致しました。

代理店数／募集人数

2011年度末における当社の代理店数は159店(前年度末時点158店)、募集人数は1,711名(前年度末実績1,930名)です。募集人数が大きく減少しているのは、使用人の数が多い代理店との代理店委託契約が解約されたことが要因です。



1-3 収支の状況

経常収益

2011 年度末における当社の経常収益は 597,460 千円と前年度(522,139 千円)より 75,320 千円増加しました。増加の要因としては、主力の生保系商品の保険料率改定によるもの、および、スポーツ傷害保険の保険金支払が増加したことによる再保険金の回収額が増加したことによるものです。

経常費用

事業の再構築により、事業費を前年度より 33,407 千円削減したにもかかわらず、2011 年度末における当社の経常費用は 602,878 千円となり、前年度(595,813 千円)より 7,065 千円増加しました。これはスポーツ傷害保険の保険金支払が多発し、支払保険金が大きく増加したことが主な要因です。ただし、スポーツ傷害保険は新規の販売を既に停止し、既契約の更新も順次停止していますので、今後は保有契約の減少に伴い保険金支払も減少し、経常費用も抑えられていくものと想定しております。

純資産

2011 年度末における当社の総資産は 163,415 千円となり、前年度(120,207 千円)より 43,208 千円増加しました。また、純資産額も前年度(14,078 千円)より 24,291 千円増加し 38,369 千円になりました。

また、現預金も前年度末より 14,392 千円増加し、27,524 千円となり、安定経営ができるようになりました。

今後の事業課題

2011 年度に徹底して事業の再構築を行ったことにより、大分筋肉質な会社にはなってきましたが、今後の事業課題として、下記の点が挙げられます。

- ① 大幅な支払過多になっているフロントガラス破損補償保険の適正化
- ② 早期死亡が多発している無選択型定期保険の収支改善
- ③ 引受査定標準の見直しによる生命定期保険、入院保障付生命定期保険の収益管理
- ④ 既存代理店からの挙績アップおよび稼働率の引き上げ
- ⑤ 新商品による代理店チャネルの活性化およびニューチャネルの開拓

上記の課題を解決していくことにより、「小さくてもキラッと光る保険会社」を目指し、その実現に邁進していきます。



1-4 財務の健全性

責任準備金

2011 年度末における当社の責任準備金は、39,350 千円となっています。当社ではフロントガラス破損補償保険を除き、引受リスクの80%を再保険によりカバーしているため、責任準備金の積立額は相対的に少なくなっています。

ソルベンシー・マージン比率

2011 年度末における当社のソルベンシー・マージン比率は 799.4%となり、前年度の 361.8%より大幅に改善され、安心してご加入いただけます。

再保険によるリスクヘッジ

当社ではフロントガラス破損補償保険を除き、引受リスクの 80%を再保険によりカバーしています。それにより、当社の財務基盤に万一のことが生じても保険金の支払いに支障がおこりにくい仕組みとなっています。

資産運用

当社では、有価証券を保有しておらず、現預金のみで安全性を最優先した資産運用をおこなっています。

PART 2

商品とサービス

- 2-1 商品のご紹介
- 2-2 販売体制
- 2-3 お客様サポート
- 2-4 情報開示



2-1 商品のご紹介

販売商品

現在、当社では「生命定期保険」「入院保障付生命定期保険」「無選択型生命定期保険」の3商品を販売しています。

生命定期保険

万一の死亡、重度障害の場合に保険金をお支払いする保険です。生命保険の基本ともいえるシンプルで応用範囲の広いプランです。「いきいきプラン」「あんしんライフ」「生きるんじゃ！」などの商品名で販売しています。

入院保障付生命定期保険

万一の死亡、重度障害の保障に加え、入院時の保障も組み込まれた保険です。死亡保障と入院保障をお手軽な料金でカバーできるプランです。「けんこうプラン」「あんしんメディカル」などの商品名で販売しています。

無選択型生命定期保険

万一の死亡時に保険金をお支払いする保険で、事故により死亡されたときは3倍の保障があります。健康告知なしでご加入いただけるシニア向けのプランです。「しあわせプラン」「あんしんシニア」などの商品名で販売しています。

2-2 販売体制

対面代理店チャネル

お客様のニーズに沿った商品を提案し、販売していくチャネルです。個人で営業している代理店から使用人を数百人抱えている大規模代理店まで、様々な代理店により商品を提供しています。

通信販売代理店チャネル

通信販売により保険を販売するチャネルで、インターネットや郵便、コールセンターを通じて全国の皆様に当社の商品をお届けしています。いつでもどこでも保険に加入できる利便性が魅力です。

直扱いダイレクト・チャネル

インターネットで保険を検討し、契約をされる方が増えてきています。当社においても、ホームページから直接、資料請求をいただいたり、保険契約のお申込みをいただくお客様も増えていきます。

今後の取り組み

それぞれのチャネルに合わせたプロモーションプランを策定し、お客様への保険販売の機会を増やしていく予定です。3つの販売チャネルをもつことは、当社の最大の強みであり、今後もバランスのとれたチャネル開拓を進めていきます。



2-3 お客様サポート

基幹システムMtas

当社では基幹システムを自社開発しているため、実情に即した顧客管理、契約情報を管理しています。またセキュリティ等にも十分配慮し、お客様の情報をお守りしています。

The screenshot displays a software interface for managing customer and contract information. It includes fields for company name (日本スポーツ共済会), contract code (A1000), and dates (2004/04/28). There are sections for '契約者情報' (Contractor Information) with fields for name, address, and phone number, and '契約状況' (Contract Status) with fields for contract type, start date, and premium amount. Buttons for '印刷' (Print), '更新/変更' (Update/Change), and '検索' (Search) are visible throughout the interface.

お客様宛通知

保険料の振替ができなかった際にお送りする「保険料ご請求案内」、更新時にお届けする「契約更新のご案内」など、きめ細かい案内にてお客様に安心を提供しています。

フリーダイヤル

新規のお客様も既にご契約のお客様も、お気軽にお問い合わせをいただけるよう、フリーダイヤル回線をご用意しています。

保険金支払体制

当社では、お客様が安心して保険金、給付金をご請求いただけるよう、社内の保険金支払部門の体制を整備すると共に、速やかな保険金支払いができるよう業務運営に努めています。

苦情受付体制

当社では万一お客様から苦情を頂戴した場合も迅速、誠実に対応できる体制を整えています。また、再発防止のために社内教育や組織体制の整備に努めています。

2-4 情報開示

ウェブサイト

当社では、ウェブサイトにおいて、商品内容や会社概要、また各種取り組み内容等を開示しているほか、インターネットで申込手続きが完結するオンライン申込や、資料請求などもインターネットを通じて、カンタンにできるようにするなど、お客様の利便性の向上に努めています。



ディスクロージャー

当社では年一回、決算等の確定を踏まえてディスクロージャー資料を作成しています。当資料は当社ウェブサイトよりご自由に閲覧、ダウンロードいただくことができます。

ニュースリリース

当社では、ご契約者の皆様をはじめとする全てのお客様に対し、当社の取り組みやお知らせについて「ニュースリリース」として情報発信しています。



PART 3

各種取り組み

- 3-1 リスク管理
- 3-2 個人情報保護
- 3-3 コンプライアンス
- 3-4 教育研修体制
- 3-5 指定紛争解決機関について



3-1 リスク管理

リスク管理体制

当社では、リスク管理体制の整備、強化を重点取り組み課題として位置付けています。適切なリスク管理をおこなうことで、業務の健全性および適切性を確保し、少額短期保険業者としての信用、信頼を高めていく所存です。また、大災害発生等を想定した「コンティンジェンシープラン」も策定しています。

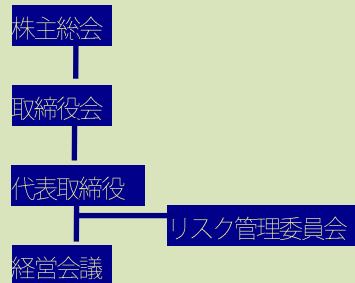
情報セキュリティ

情報セキュリティへの取り組み指針として、「セキュリティポリシー」を策定すると共に、「情報セキュリティ管理責任者」を配置して、適切な情報管理に努めています。

リスクの種類

- ・資産運用リスク
- ・保険引受リスク
- ・事務リスク
- ・システムリスク
- ・その他経営リスク

リスク管理体制



ブロードマインド少額短期保険株式会社 セキュリティ・ポリシー（抜粋）

1. 情報セキュリティ管理体制の構築
当社が保有する全ての情報資産の保護に努め、情報セキュリティに関する法令その他の規範を遵守することにより、社会からの信頼を常に得られるよう、高度な情報セキュリティ管理体制を構築していきます。
2. 「情報セキュリティ管理責任者」の配置
社内に「セキュリティ管理者」を設置するとともに、リスク管理委員会を常設します。これにより情報セキュリティの状況を正確に把握し、必要な対策を迅速に実施できるよう積極的な活動を行います。
3. 情報セキュリティに関する内部規程の整備
情報セキュリティポリシーに基づいた内部規程を整備し、個人情報だけではなく、情報資産全般の取り扱いについて明確な方針を示すとともに、情報漏洩等に対しては、厳格な姿勢で臨むことを内外に周知徹底します。
4. 監査体制の整備・充実
情報セキュリティポリシー及び規程、ルール等への遵守状況に対する内部監査を実施できる体制を整備してまいります。監査を計画的に実施することにより、全職員はセキュリティポリシーを遵守していることを証明します。
5. 情報セキュリティ対策を徹底したシステムの実現
情報資産に対する不正な侵入、漏洩、改ざん、紛失、破壊、利用妨害などを防止するべく、徹底した対策の実施とシステムの構築を行ってまいります。高セキュリティエリアでの作業、DB アクセス権の制限など、データへのアクセスを徹底的にコントロールします。
6. 情報セキュリティリテラシーの向上
全職員及び派遣職員にセキュリティ教育と訓練を継続的に実施し、当社の情報資産に関わる全員が、情報セキュリティリテラシーを持って業務を遂行できるようにします。



3-2 個人情報保護

取り組み

当社では、個人情報保護を重要課題として位置付け、関連法規に基づき各種の社内規定を整備すると共に、社内の管理体制の強化に努めています。

プライバシーポリシー

当社では、お客様の個人情報の保護に万全を尽くすため、下記のとおり「プライバシーポリシー」を定めています。

センシティブ情報の取扱

センシティブ情報については、保険事業の適切な業務運営を確保する必要性から、業務遂行上必要な範囲内で、各種保険契約の引き受け、継続、維持管理、保険金等の支払い、保険商品の開発等の目的に限定して取得、利用いたします。

個人情報の外部提供

当社はおお客様とのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために次のような取り扱いをおこないます。

- ・再保険会社への情報提供
- ・業務委託先への情報提供

詳細はウェブサイト上のプライバシーポリシーをご参照ください。

センシティブ情報

保健医療等の機微情報を「センシティブ情報」といいます。センシティブ情報については、保険業法施行規則第53条の10により、利用目的が限定されています。

ブロードマインド少額短期保険株式会社 プライバシー・ポリシー（抜粋）

当社は、お客様の氏名や住所、電話番号、メールアドレスなど、特定の個人を識別できる情報（個人情報）の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）その他の関連法令等を遵守して、お客様の個人情報の保護を行なっております。

1. 個人情報の取得
当社は、業務上必要な範囲内かつ、適法で公正な手段により個人情報を取得します。
2. 個人情報の利用目的
当社では、次の業務を実施する目的に必要な範囲内で個人情報を利用します。
 - ①保険契約の申込みに係る引受の審査、引受、履行および管理
 - ②適正な保険金・給付金の支払い
 - ③再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知および再保険金の請求
 - ④お問い合わせやご依頼などへの対応
 - ⑤その他、上記に付随する業務ならびにお客様とのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務
3. 個人データの安全管理
当社は、個人データを正確かつ最新なものにするため、適切な措置を講じます。また、個人データへの不正なアクセス等が行われることを防止するため、必要と考えられる対策を講じます。
4. 個人データの第三者への提供
当社は、次の場合を除き、第三者に個人データを提供することはありません。
 - ①あらかじめ同意がある場合
 - ②利用目的を達成するために業務を委託する場合
 - ③法令により必要とされる場合
5. 個人情報の開示・訂正・利用停止等について
当社は、お客様からご自身の個人情報に関して利用目的の通知・開示・訂正・追加・削除・利用停止の依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応致します。



3-3 コンプライアンス

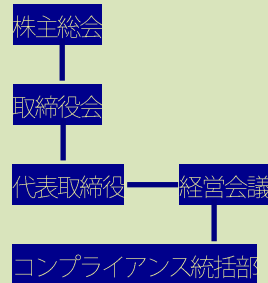
取り組み

当社はコンプライアンスを最重要の経営課題として位置付け、法令遵守の体制づくり、保険募集から保険金のお支払いに至るまで、適正な業務遂行ができるよう、取り組みを続けています。

コンプライアンス体制

コンプライアンスを管理するため、独立した組織である「コンプライアンス統括部」を設けています。

コンプライアンス体制



遵守すべき法令等

当社は保険業法をはじめとした関連法規はもとより、社内規程や社内ルールも遵守するよう周知徹底を図っています。

遵守すべき主な法令等

- ・保険業法
- ・個人情報保護法
- ・消費者契約法
- ・金融商品販売法
- ・本人確認法
- ・会社法
- ・不正競争防止法

反社会的勢力への対応

当社は反社会的勢力による被害を防止するため、「反社会的勢力に対する基本方針」「反社会的勢力への対応に関する規程」を制定しています。また、外部専門機関との連携、取引を含めた一切の関係遮断、有事における民事と刑事の法的対応、裏取引や資金提供の禁止を徹底しています。

コンプライアンス規程 第1条 (行動規範)

1. 社会的責任と公共的使命

当社は、少額短期保険事業の社会的責任と公共的使命を認識し、健全な業務運営を通じて国民経済への寄与と事業の一層の発展を目指すものとする。

2. 公正かつ公平な事業活動

当社は、常に公正な競争に努め、社会的に有用かつ良質な商品・サービスをすべてのお客様に公平に提供する。

3. 法令等諸規則の遵守

当社は、役員・社員一人一人が高い倫理観を持ち、法令・諸規則に反することなく誠実に事業活動を遂行する。

4. 社会とのコミュニケーション

当社は、良き企業市民として社会貢献活動や環境問題に積極的に取り組むとともに、企業情報の積極的かつ公正な開示に努め、広く社会とのコミュニケーションを図る。

5. 反社会的勢力に対する断固とした姿勢

当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては、断固とした姿勢で臨むものとする。



3-4 教育研修体制

・社内教育

当社では「トレーニング体系」を策定し、社員および募集人に対する教育研修を推進しています。

・代理店教育

保険募集の第一線にいる代理店、募集人の教育は最重要課題のひとつです。当社では商品研修、販売研修はもとより、適正な募集活動のためコンプライアンス研修等も定期的実施しています。

・教育研修ツール

当社では代理店の質向上のため、さまざまな教育研修ツールを開発しています。販売スキル向上のための「販売マニュアル」事務スキル向上のための「事務マニュアル」などがあります。

・勧誘方針

当社では、保険募集にあたり適正な販売活動を推進するため、「勧誘方針」を定めています。





3-5 指定紛争解決機関について

当社は、指定少額短期保険業務紛争解決機関である一般社団法人 日本少額短期保険協会との間で、少額短期保険業務に関する苦情処理手続および紛争解決手続等の実施のための手続実施基本契約を締結しております。

指定少額短期保険業務紛争解決機関では、ご契約者をはじめ、一般消費者の皆様からの少額短期保険全般に関するご相談・ご照会への対応や苦情処理・紛争解決を行います。

一般社団法人 日本少額短期保険協会 少額短期ほけん相談室

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-12-8 八丁堀SFビル 2 階

TEL 0120-82-1144(通話料無料)

FAX 03-3297-0755

[受付]

月曜日～金曜日(祝日・年末年始休業期間を除く)

9:00～12:00、13:00～17:00

ホームページアドレス <http://www.shougakutanki.jp/general/index.html>

PART 4

会社概要

- 4-1 会社プロフィール
- 4-2 組織体制と経営陣
- 4-3 グループのご紹介



Broad-minded
Small Amount & Short Term
Insurance Company

4-1 会社プロフィール

会社名

ブロードマインド少額短期保険株式会社
Broad-minded Small Amount & Short Term Insurance Company

会社所在地

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5
JR恵比寿ビル7階
TEL 03-6859-8367 / FAX 03-6859-8361

URL

<http://www.b-minded.com/insurance>

設立

2007年3月

役員員数

6名(2012年7月1日現在)

資本金

8500万円(資本準備金 7500万円)

事業内容

少額短期保険業
財務局登録 2008年3月17日
関東財務局(少額短期保険)第15号

経営陣

代表取締役社長	飛田 浩志
取締役	伊藤 清
取締役	鶴沢 敬太
監査役	座間 陽一郎

主要株主

ブロードマインド株式会社 100% (持株数:16,000株)
(2012年7月1日現在)

《ブロードマインドの社名の由来》

私どもブロードマインドグループの社名である Broad-minded とは「心の広い」「自由闊達な」という意味です。ひとり一人が個性を生かせる企業でありたいという願いを込めた社名です。



《ロゴマークの意味》

ブルーのスクエアの中を5本のストライプが広がっていくデザインは、当社の目指す企業像を表しています。青は安定・信頼・誠実さを表し、ストライプは希望、光、先進性を表します。5本のストライプの中で1本が別色であるのは、独自性のある事業、個性のある企業を目指したいとの思いを込めたものです。



4-2 組織体制と経営陣

組織体制

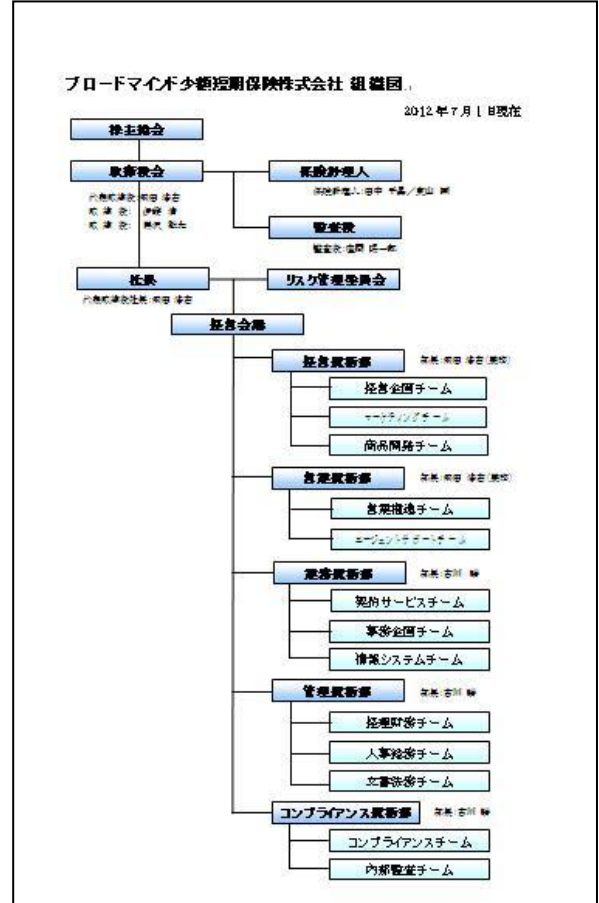
当社では実務執行部門として「経営統括部」「営業統括部」「業務統括部」「管理統括部」をおき、独立した部門として「コンプライアンス統括部」を設けています。各部門が相互に連携することで、円滑で健全な業務運営をおこなっています。

経営陣

取締役会、保険計理人、監査役がそれぞれの立場で会社経営、事業の状況を管理しています。また、業務執行部門の意思決定機関として「経営会議」を設置しています。

リスク管理委員会

当社では、コンプライアンスの遵守状況、および危機管理、内部けん制の状況を中立的・客観的に検証する機関として、社外メンバーを中心とした「リスク管理委員会」を設けています。



4-3 グループのご紹介

・ブロードマインドグループ

2002年に創業した国内有数の総合保険コンサルティング企業グループです。生命保険、損害保険の販売業務、各種リスクコンサルティング業務、事務受託、システム開発、再保険サービス、少額短期保険事業までを総合的にカバーできる企業グループであり、創業以来、業容を拡大してきました。

・ブロードマインド株式会社

ブロードマインド株式会社はブロードマインドグループの中核企業であり、生命保険、損害保険計40社以上の保険販売をおこなう総合的な保険代理店です。日本で初めて子会社として少額短期保険会社を設立した保険代理店でもあります。

PART 5

各種データ

財産及び損益の状況の推移

支店等及び代理店の状況

直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

直近の2事業年度における業務の状況

直近の2事業年度における財産の状況



1. 財産及び損益の状況の推移

(単位: 千円)

区分		平成 21 年度 (前々期)	平成 22 年度 (前期)	平成 23 年度 (当期)
年度末 契約高	生命定期保険	2,059,600	4,791,113	5,671,780
	入院保障付生命定期保険	45,479,200	45,276,539	40,024,589
	無選択型生命定期保険	390,950	433,290	468,165
	フロントガラス破損補償保険	12,483	81,438	30,415
	スポーツ傷害保険	48,979,800	125,264,000	92,317,845
	包括移転商品	-	-	-
正味収入保険料		214,949	214,295	267,851
(生命定期保険)		4,102	9,965	19,075
(入院保障付生命定期保険)		193,122	175,553	217,011
(無選択型生命定期保険)		12,144	11,996	14,709
(フロントガラス破損補償保険)		728	5,903	2,902
(スポーツ傷害保険)		1,868	10,877	14,150
(包括移転商品)		2,984	-	-
利息及び配当金収入		19	13	6
経常損失		31,412	73,674	5,418
当期純損失		35,203	73,939	5,708
総資産		154,034	120,207	163,415
一株あたりの当期純損失(円)		3,520.31	5,687.64	357.00

2. 支店等及び代理店の状況

(単位: 店)

区分	前期末	当期末	当期増減
支店	-	-	-
営業所	-	-	-
計	-	-	-
代理店	158	159	1
計	158	159	1



3. 直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位:千円)

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
経常収益	528,349	522,140	597,460
経常利益又は損失(△)	△31,412	△73,674	△5,418
当期純利益又は損失(△)	△35,203	△73,939	△5,708
資本金の額	55,000	70,000	85,000
(発行済株式の総数)	(10,000 株)	(13,000 株)	(16,000 株)
純資産額	58,017	14,078	38,369
総資産額	154,034	120,207	163,415
保険契約準備金残高	23,786	31,396	56,033
(うち支払備金)	(8,384)	(13,442)	(16,683)
(うち責任準備金)	(15,402)	(17,954)	(39,350)
有価証券残高	-	-	-
ソルベンシー・マージン比率	1399.4%	361.8%	799.4%
配当性向	-	-	-
従業員数(派遣、出向を含む。)	17 人	9 人	6 人
正味収入保険料の額	214,949	214,295	267,851



4. 直近の2事業年度における業務の状況

① 主要な業務の状況を示す指標等

(単位:千円)

	保険種目	平成 22 年度	平成 23 年度
契約者配当金の額	該当ありません。		
正味収入保険料(注 1)	死亡保険・その他の損害保険	214,295	267,851
元受正味保険料	死亡保険・その他の損害保険	374,706	413,606
支払再保険料	死亡保険・その他の損害保険	173,953	175,205
正味支払保険金(注 3)	死亡保険・その他の損害保険	58,361	58,919
元受正味保険金	死亡保険・その他の損害保険	190,951	213,166
回収再保険金	死亡保険・その他の損害保険	132,590	154,247

注1 正味収入保険料は、元受正味保険料(収入保険料)から支払再保険料を差し引いた額

2 正味支払保険金は、元受正味保険金(支払保険金)から回収再保険金を差し引いた額

② 保険契約に関する指標等

	保険種目	平成 22 年度	平成 23 年度
正味損害率(注 1)	死亡保険	29.1%	22.0%
正味事業費率(注 2)	死亡保険	111.1%	70.8%
合計	死亡保険	140.2%	92.8%
発生損害率(注 3)	死亡保険	50.9%	47.1%
実績事業費率(注 4)	死亡保険	59.5%	46.2%
【合計】	死亡保険	110.4%	93.3%

注1 正味損害率は、正味支払保険金を正味収入保険料で除した値

2 正味事業比率は、正味事業費(事業費から再保険手数料を差し引いた額)を正味収入保険料で除した値

3 発生損害率は、元受正味保険金を元受正味保険料で除した額

4 実績事業率は、事業費を元受正味保険料で除した額

	平成 22 年度	平成 23 年度
出再再保険会社数	3 社	3 社
上位 5 社に対する支払再保険料の割合	100.0%	100.0%
格付けごとの再保険料の割合	A-以上	100.0%
	BBB 以上	0.0%
未収再保険金額	該当ありません。	

(格付け機関: S&P 社 2012 年 5 月 31 日現在による)



③ 経理に関する指標等

(単位:千円)

	保険種目	平成 22 年度	平成 23 年度
支払備金の額	死亡保険	13,442	16,683
責任準備金の額	死亡保険	17,954	39,350

	平成 22 年度	平成 23 年度
利益準備金		
任意積立金		
損害率の上昇に対する経営損失の額の変動 (損害率 1%上昇を仮定(注))	1,053	2,641

注 当期発生損害率が 1%上昇していたときの正味支払保険金の増加額を記載

	平成 22 年度	利回り	平成 23 年度	利回り
利息配当金収入				
現預金	13	0.02%	14	0.02%
元本補てんの契約のある金銭 信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
小計	13	0.02%	14	0.02%
その他	-	-	-	-
【合計】	13	-	14	-

④ 資産運用に関する指標等

(単位:千円)

	平成 22 年度	構成比	平成 23 年度	構成比
資産残高				
現預金	13,132	10.9%	27,415	16.8%
元本補てんの契約のある金銭信 託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
運用資産計	13,132	10.9%	27,415	16.8%
総資産	120,207	100%	163,415	100%

⑤ 責任準備金の残高

(単位:千円)

区分	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当 準備金等	合計
死亡保険	29,688	8,920	-	38,608
その他損害保険	654	87	-	741
【合計】	30,342	9,007	-	39,350



5. 直近2事業年度における財産の状況

① 平成23年度(平成24年3月31日現在)貸借対照表

(単位:千円)

区分	前期金額	当期金額	区分	前期金額	当期金額
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	13,132	27,524	保険契約準備金	31,396	56,033
現金	25	109	支払備金	13,442	16,683
預貯金	13,107	27,415	責任準備金	17,954	39,350
有形固定資産	—	139	代理店借	6,621	6,215
その他の有形固定資産	—	209	再保険借	58,592	55,253
減価償却費累計額	—	△69	その他負債	8,304	6,402
無形固定資産	6,885	7,626	未払法人税等	547	647
ソフトウェア	6,885	7,626	未払金	4,723	3,775
再保険貸	42,206	68,012	未払費用	1,230	1,456
その他資産	39,984	40,111	預り金	1,804	522
未収金	30,575	30,566	その他の引当金	1,217	1,140
前払費用	180	948	負債の部 合計	106,129	125,045
その他の資産	9,229	8,596	(純資産の部)		
供託金	18,000	20,000	資本金	70,000	85,000
			資本剰余金	60,000	75,000
			資本準備金	60,000	75,000
			利益剰余金	△115,922	△121,630
			繰延利益剰余金	△115,922	△121,630
			株主資本合計	14,078	38,369
			純資産の部 合計	14,078	38,369
資産の部合計	120,207	163,415	負債及び純資産の部合計	120,207	163,415



② 平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)損益計算書

(単位:千円)

科目	前期金額	当期金額
経常収益	522,140	597,460
保険料等収入	521,036	597,454
保険料	374,706	413,606
再保険回収	146,330	183,847
回収再保険金	132,589	154,247
再保険返戻金	112	16
その他再保険収入	13,629	29,583
支払備金戻入額	—	—
資産運用収益	13	6
利息及び配当金等収入	13	6
経常費用	595,813	602,878
保険金等支払金	365,102	388,521
保険金	112,027	104,168
給付金	78,924	108,997
解約返戻金等	199	149
再保険料	173,953	175,205
責任準備金等繰入額	7,610	24,638
支払備金繰入額	5,058	3,241
責任準備金繰入額	2,552	21,396
事業費	223,097	189,689
営業費及び一般管理費	218,026	185,847
税金	3,065	1,427
減価償却費	2,006	2,415
その他経常費用	4	29
経常利益(又は経常損失)	△73,674	△5,418
税引前当期純利益(又は税引前当期純損失)	△73,674	△5,418
法人税及び住民税	266	290
法人税等合計	266	290
当期純利益(又は当期純損失)	△73,939	△5,708

③ 平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)キャッシュフロー計算書

(単位:千円)

科 目	前期金額	当期金額
I 営業活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純利益	△73,674	△5,418
減価償却費	2,006	2,415
賞与引当金増減額	△89	△75
保険契約者準備金増減額	7,610	24,638
受取利息及び受取配当金(P/L 営業外収益(-))	△13	△6
棚卸資産の増減	20	482
未収入金の増減	△2,198	7
再保険貸の増減	13,339	△25,806
再保険借の増減	921	△3,338
代理店借の増減	265	△405
その他営業活動に関わる資産の増減	△23	△618
その他営業活動に関わる負債の増減	1,347	△1,643
供託金の増減	△3,000	△2,000
その他営業活動によるキャッシュフロー	198	—
(小計)	△53,290	△11,767
利息及び配当金等の受取額	13	6
法人税等の支払額	△406	△546
営業活動によるキャッシュフロー	△53,683	△12,307
II 投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得による支出	△966	△209
無形固定資産の取得による支出	△1,904	△3,087
その他の増減額	—	—
投資活動によるキャッシュフロー	△2,870	△3,296
III 財務活動によるキャッシュフロー		
株式の発行による収入	30,000	30,000
財務活動によるキャッシュフロー	30,000	30,000
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		
V 現金及び現金同等物の増加額	△26,552	14,392
VI 現金及び現金同等物期首残高	39,685	13,132
VII 現金及び現金同等物期末残高	13,132	27,524

(注) 現金及び現金同等物の範囲は、現金及び預貯金からなっております。



④ 平成23年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科目	前期金額	当期金額
株主資本		
資本金		
前期末残高	55,000	70,000
当期変動額	15,000	15,000
当期変動額合計	15,000	15,000
当期末残高	70,000	85,000
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	45,000	60,000
当期変動額	15,000	15,000
当期変動額合計	15,000	15,000
当期末残高	60,000	75,000
利益剰余金		
その他剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	△41,982	△115,922
当期変動額	△73,939	△5,708
当期変動額合計	△73,939	△5,708
当期末残高	△115,921	△121,630
株主資本合計		
前期末残高	58,017	14,078
当期変動額	△43,939	24,291
当期変動額合計	△43,939	24,291
当期末残高	14,078	38,369
純資産合計		
前期末残高	58,017	14,078
当期変動額	△43,939	24,291
当期変動額合計	△43,939	24,291
当期末残高	14,078	38,369



⑤ 保険金等の支払能力の充実の状況

(単位:千円、%)

	前期金額	当期金額
(1)ソルベンシー・マージン総額	23,729	47,376
① 純資産の部の合計額(繰延資産等控除後の額)	14,078	38,369
② 価格変動準備金	-	-
③ 異常危険準備金	9,650	9,007
④ 一般貸倒引当金	-	-
⑤ その他有価証券評価差額(税効果控除前)(99%又は100%)	-	-
⑥ 土地の含み損益(85%又は100%)	-	-
⑦ 契約者配当準備金の一部(除、翌期配当所要額)	-	-
⑧ 将来利益	-	-
⑨ 税効果相当額	-	-
⑩ 負債性資本調達手段等	-	-
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(a))	-	-
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(b))	-	-
⑪ 控除項目(-)	-	-
(2) リスクの合計額 $\sqrt{[R1^2+R2^2]+R3+R4}$	13,118	11,852
保険リスク相当額	12,516	11,366
R1 一般保険リスク相当額	12,516	11,366
R4 巨大災害リスク相当額	-	-
R2 資産運用リスク相当額	2,040	1,510
価格変動等リスク相当額	-	-
信用リスク相当額	131	274
子会社等リスク相当額	-	-
再保険リスク相当額	1,487	555
再保険回収リスク相当額	422	680
R3 経営管理リスク相当額	437	386
ソルベンシー・マージン比率 (1)/{(1/2)×(2)}	361.8	799.4

⑥ 有価証券または金銭の信託に関する取得価額または契約価額、時価および評価損益

有価証券 該当ありません。

金銭信託 該当ありません。

個別注記表

1. 重要な会計方針に関する事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産： 該当ありません。

無形固定資産： 定額法により計算しています。

耐用年数につきましては、自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間(5年)で償却しています。

(2) 引当金の計上金額

貸倒引当金： 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金： 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額を計上しています。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税の免税事業者であり、消費税は発生していません。尚、計上時の消費税等の会計処理は税抜方式により計上しています。

2. 重要な会計方針および表示の変更に関する事項

表示項目を保険業法およびその関係法令に準じた内容としています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類および総数

発行済株式の種類	期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	13,000	3,000	-	16,000

4. その他の注記

会計上の変更および誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

当年度決算において、再保険料計上に一部誤りがあり、再保険借計上額が3,339,886円不足していることが2014年3月の社内精査にて判明致しました。当社では「会計上の変更及び過去の訂正に関する会計基準」に従い当該数値の修正を行った結果、修正前と比べて、経常損失及び税引前当期純損失は、それぞれ3,339,886円増加しております。

上記の修正を反映させ、本ディスクロージャーを2014年5月29日に改訂いたしました。



Broad-minded
Small Amount & Short Term
Insurance Company

ディスクロージャー 2012

2012年7月発行

ブロードマインド少額短期保険株式会社

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル7階

TEL 0120-53-2610 / FAX 03-6859-8361

<http://www.b-minded.com/insurance>